

第1号議案

平成30年度 事業計画(案)

I はじめに

平成30年2月に公表された内閣府の月例報告によると、「景気は、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされている。

さて、昨年5月は、経済産業省が「和装の持続的発展のための商慣行のあり方」を公表。本財団も、理事会の決議を受けて、賛同宣言を行った。また、1月には、成人式の振袖が着られないことで、マスコミが報道を繰り返した「はれのひ」に係る被害も明らかになった。

平成30年度においては、新規事業として、きものサミットin京都の開催を支援。商慣行のあり方、東京オリンピック・パラリンピック、きもの文化のユネスコ無形文化遺産登録等について協議していく。また、「はれのひ」被害者支援事業として、西陣織工業組合が取り組んでいる事業に協力する。

以上の事業を推進するに当たっては、国、京都府、京都市及び関係団体の協力が必要である。今後とも、これらの団体との連携をさらに強化してまいりたい。

II 事業計画

1 財源の確保 (42,657千円) *左記の金額は収入

財団の収入源は、資産運用、事業収入、不動産収入及び補助金収入等となっている。このうち、資産運用については、「安全かつ有利」を基本にしてまいりたい。なお、現在保有している債券の中で、平成30年度中に償還を迎えるものは1件である。

◇ 資産の内訳 (単位：千円)

区分	額面	債券の種類				定期預金
		国債	劣後債	社債	ユーロ円債	
基本財産	22,000	20,000	—	—	—	2,000
運用財産	1,168,000	560,000	200,000	100,000	200,000	108,000
合計額	1,190,000	580,000	200,000	100,000	200,000	110,000

◇ 債券の償還時期 (単位：千円)

債券の名称	額面	購入時期	償還時期	備考
第120回20年国債	30,000	2011年11月	2030年6月	
第144回20年国債	50,000	2013年5月	2033年3月	
第11回30年国債	300,000	2010年8月	2033年6月	
第152回20年国債	100,000	2015年9月	2035年3月	
政府保証日本高速道路機構債	100,000	2014年5月	2024年5月	
野村ホールディングス社債 (劣後債)	100,000	2010年11月	2025年11月	早期償還あり
第8回パナソニック社債	100,000	2013年1月	2019年3月	年度内償還
第7回三菱UFJG任意償還条項付永久社債 (債務免除・劣後債)	100,000	2017年11月	2028年7月	早期償還あり
ロイズバンクユーロ円債	200,000	2012年2月	2024年2月	
合計額	1,080,000			

2 会議の開催（500千円）

- (1) 評議員会
定時評議員会を6月に開催する。
- (2) 理事会
決算理事会を6月、予算理事会を3月に、また、必要に応じて臨時理事会を開催する。
- (3) 正副理事長会議
理事会の開催前のほか、必要に応じて開催する。
- (4) 和装業界懇談会
夏から秋にかけて、関係団体と調整の上、開催する。

3 和装普及啓発事業（12,761千円）

- (1) きもの修学旅行（6,225千円）
京都を訪れる中学高校の修学旅行生を対象に、きものを着ることの「楽しさ」「おしゃれ感」「京都らしさ」などを体感してもらう。
(平成29年度実績：21校、2,265人参加)
- (2) きもの・ゆかたレンタル事業（1,471千円）
関連団体や大学・専門学校、公的機関等が文化イベントを開催する際に、きものやゆかたのレンタルを行う。
(平成29年度実績見込み：30件、810点貸出)
- (3) 「室町きもの教室」（1,060千円）
きもの初心者向けの着付けや、二重太鼓結びや変わり結びなどの帯結びを1日で学べる教室を開講する。
(平成29年度実績：35人参加)
- (4) 「きものの似合うまち・京都」推進事業（3,503千円）
「きものの似合うまち・京都」実行委員会の事務局として、「京都きものパスポート」の発行等を行う。
(平成29年度実績：パスポート5万部発行)
- (5) 「伝統産業の日」事業との連携（402千円）
京都市「伝統産業の日」実行委員会が主催する「きもの de 彩コンサート」に協力する。
(平成28年度実績：887人参加)
- (6) 成人祝賀式への支援（100千円）
総本山知恩院において、同院おてつき運動本部が「成人祝賀式」を開催するに際し、振袖の着付けについて、和装学院振興協議会の協力を得て、支援を行う。
(平成29年度実績：19人参加)

4 和装教育支援事業（3,131千円）

- (1) 学校教育におけるきもの着つけ実習の支援（2,020千円）
京都府内の中学校や高等学校に、きものレンタルや着付け講師の派遣を行うことにより、和装教育を支援する。
(平成29年度実績：26校、41件、1,377人参加)

(2) 大学生着付け塾の支援 (505千円)

京都大学を中心とする学生団体「京都着物企画」が実施するきものやゆかたの着付け塾等の事業を支援する。

(平成29年度実績：190人参加)

(3) 着つけDVD「ひとりで出来る着つけ塾」の作成等 (606千円)

自分で気軽に着る楽しさを伝え、和装に対する興味を持ってもらうDVDを作成し、希望者に販売するほか、室町きもの教室の参加者に頒布等を行う。

(平成29年度実績見込み：517枚頒布)

5 企画広報事業 (4,860千円)

(1) きものよろず相談事業 (145千円)

専門家に気軽にきものに関する相談ができる無料の「きものよろず相談窓口」を開設する。

なお、京染会館だけでなく、西陣織会館等の会場での実施も検討する。

(平成28年度実績：14人相談)

(2) 和装情報の発信等 (255千円)

財団ホームページを更新し、タイムリーな情報を提供する。

(3) 後援及び賞状交付等 (10千円)

和装産業の振興に資する事業について、後援等の依頼があった場合は、これに応じていく。

(平成29年度実績見込み：14件 (内、賞状4件))

(4) きもの文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 (1,260千円)

ア 全国の関係者が一堂に集う会議 [和装 (きもの文化) ユネスコ登録推進・連絡協議会] の開催

イ 実務者会議の開催

ウ 国、京都府、京都市及び関係団体との調整

エ ロゴマークの活用

(平成29年度実績：全国会議1回、実務者会議3回、要望活動1回、ロゴマークの募集・決定)

(5) きものサミットin京都の開催 (3,000千円)

新規

商慣行のあり方、東京オリンピック・パラリンピック、きもの文化のユネスコ無形文化遺産登録推進等について協議する。

(6) 「はれのひ」被害者支援事業 (100千円)

新規

西陣織工業組合が取り組んでいる事業 (被害者に対し、きものレンタル、ヘアメイク、着付け、写真撮影等を無料で提供) に協力する。